

2024年度 エシカル協会 活動報告

■ 2024年／法人会員ミーティング

第1回:2月26日(木)15-16時半(オンラインで開催)

(内容)

代表理事末吉が委員を務める政府委員会で検討中の政策について、代表末吉、理事 羽生田(Forbes JAPAN「日本のルールメーカー30人」選出)、大久保とともに解説共有を行いました。

<代表理事末吉が委員を務める政府審議会一覧(2024.1月時点)>

環境省 中央環境審議会 循環型社会部会

経済産業省 産業構造審議会 産業技術環境分科会資源循環経済小委員会

環境省 中央環境審議会 静脈産業の脱炭素型資源循環システム構築に係る小委員会

消費者庁 消費者教育推進会議

- 1) エシカル協会からの開会のご挨拶
- 2) 情報提供(代表理事末吉が参加している委員会のご紹介と説明)
- 3) 質疑応答
- 4) エシカル協会からの閉会のご挨拶

第2回:5月29日(木)14時-18時(対面で開催)

(内容)

代表 末吉が委員を務める経済産業省 産業構造審議会 産業技術環境分科会資源循環経済小委員会の担当である経済産業省 吉川様をお招きし、サーキュラーエコノミー関連政策のポイント、先進企業の取組みの紹介や企業への期待などについてお話いただきました。

- 1) エシカル協会からの開会のご挨拶
- 2) 情報提供
経済産業省 吉川様「GX 時代における循環経済(サーキュラーエコノミー)について」
- 3) 質疑応答
- 4) ネットワーキング

第3回:9月18日(水)17時-19時(対面で開催)

(内容)

新たな気づきや発見、問題定義や解決など、皆様の経済活動の少しでもお役に立てればと思い「モノづくり」をされている法人会員様に着目し、エシカルなお取り組みを社内外でどのようにされているのか、またそのお取り組みを導入されたことによりどのような良いことが起こっているのかを、3社(花王株式会社様・雪ヶ谷工業株式会社様・株式会社山櫻様)のご担当者様にご登壇いただきご共有していただきました。

- 1) エシカル協会からの開会のご挨拶
- 2) 各社ご登壇花王株式会社様、雪ヶ谷化学工業株式会社様、株式会社山櫻様
- 3) 質疑応答
- 4) エシカル協会からの閉会のご挨拶
- 5) 懇親会

第4回:12月16日(月)18時半-20時半(対面で開催)

(内容)

日頃の感謝の気持ちをお伝えする機会として、また会員様同士の交流の場として懇親会を開催いたしました。

■ 2024年／第14期エシカル・コンシェルジュ講座

<講座概要>

気候危機、人権侵害、児童労働、貧困問題、生物多様性の損失など、あらゆる問題が深刻化する中、私たちは一体どうやってこの現状と向き合えば良いのだろうか、と不安になる人がいるかもしれません。実はエシカルな(倫理的な)考え方を学ぶことで、現実としっかり向き合い、解決し、変化を起こす力を培うことができます。

エシカルの考え方の中には、フェアトレード、オーガニック、サステナビリティ、動物福祉、リサイクル、環境再生型農業、自然エネルギー、エシカル金融、SDGsなど様々な分野があり、講座を通じてそれぞれを学び、できることから暮らしの中で実践することで、世界が抱える課題を改善に導き、「いいあんばい」な世の中を築く力になります。エシカル・コンシェルジュは、小さなことでも行動に移す実践者のことを指します。エシカル協会のミッションは、エシカルの本質について自ら考え、行動し、変化を起こす人々を育み、そうした人々と共に、エシカルな暮らし方が幸せのものさしとなっている持続可能な世界を実現することです。

どんな人も、学ぶというアクションをとることで、変化の担い手の一歩を踏み出すことができます。エシカルな暮らし方が幸せなものさしとなっている世界を作るための、学び繋がる機会を作る講座です。



エシカル・コンシェルジュ講座

2024年・第14期 2024.6.1 SAT >>> 2024.10.12 SAT



先駆者から学ぶ、これからをつくる上で欠かせない「必修科目」

#エシカル #気候変動 #エネルギー #ゴミ #アニマルライツ #社会の仕組み
#ソーシャルビジネス #コモンズと民主主義 #ジェンダー #ソーシャルアクション



<第14期:講師とテーマ>

第1回 6/1(土)9:30-11:30

「エシカルは新しい幸せのものさし」

末吉 里花(一般社団法人エシカル協会 代表理事)

第2回 6/23(日)14:00-16:00

「気候変動の今 — 迫る危機に何ができるのか」

平田 仁子 氏(一般社団法人Climate Integrate代表理事)

第3回 7/6(土)9:30-11:30

「地域と共生する再生可能エネルギーの可能性」

山口 豊 氏(テレビ朝日アナウンス部 上級マネジャー)

第4回 7/27(土)14:00-16:00

「マシガンズ滝沢さんと考える「ゴミ」問題 ～ゴミは捨てて終わりではない～」

滝沢 秀一 氏(お笑い芸人「マシガンズ」・ゴミ清掃員)

第5回 8/4(日)14:00-16:00

「地球を分け合う動物たちに配慮する2つの方法」

岡田 千尋 氏(NPO法人アニマルライツセンター代表理事)

第6回 8/24(土)14:00-16:00

「この危機とモヤモヤを乗り越えよう～意識と行動で仕組みを変える～」

辻井 隆行 氏(Jリーグ執行役員(サステナビリティ領域担当)/元パタゴニア日本支社長)

第7回 9/7(土)14:00-16:00

「社会を再構築するソーシャルビジネスの作り方 ～社会起業家たちの挑戦～」

田口 一成 氏(株式会社ボーダレス・ジャパン 代表取締役社長)

第8回 9/21(土)14:00-16:00

「愛する街を幸せにする政治参加と民主主義」

岸本 聡子 氏(東京都杉並区長／公共政策研究者)

第9回 10/5(土)14:00-16:00

「みんなのための、ジェンダー平等と女性のエンパワメント」

大崎 麻子 氏(特定非営利活動法人 Gender Action Platform 理事)

第10回 10/12(土)14:00-16:00

「エシカルを拡めるには? ～社会を動かすメッセージのつくり方～」

砥川 直大 氏(The Breakthrough Company GO クリエイティブ・ディレクター)

※上記の講師は変更する場合がありますのでご了承ください。

※講座後に受講生たちが集まってランチ会も行い、深い交流が生まれました



・学びを深める唯一無二のフィールドワークを開催

講座期間中、学んだことを生かして、実際にエシカルな行動を実践できるフィールドワークを関東と関西で実施。受講生の仲間や協会メンバーと一緒に、エシカルの学びを深めながら、交流や地域とのつながりを育むことができました。

6月に「堤浅吉漆店」



※漆塗体験中の参加者たち



7月に「斗々屋」京都店



14期:一般439名(うち学生応援企画、51名)

<受講生の感想(一部抜粋)>

・普段気になりつつも時間を取って、じっくり考えることがありませんでしたが 講座を受講し、グループメンバーでディスカッションをすることにより、視野が広がりました。大きなことに取り組むには時間がかかりますが、身近にアクションできることから取り組みたい。

・全体を通して、今まで身近に活動しているトピック(気候変動、エシカル消費、ゴミ問題)などもあれば、関心はあっても行動にまではうつせていなかったトピック(再エネ、アニマルライツ、政治)などもあり、自分自身の活動にもたくさんのリマインドをいただけた10回講座だったと感じている。

・エシカルという共通用語を通して、同じようなことを学びたい、興味がある、と思っている人がこんなにたくさんいるんだ!と思えたことは、本当に嬉しかった。

・アウトプット会や懇親会では、様々なバックグラウンドを持つ方とお話することができ、社会課題に前向きに立ち向かう方が多くいることや、受講者の方も積極的にエシカルな取り組みをされていることに驚きと刺激を受けた。

・すべての講座が大変有意義であり、内容が濃く新しい気づきや発見が沢山あり大変満足しています。講義のレベルが高く、期待をはるかに上回り、びっくりしているくらいです!環境学を学びたくて大学院に通っておりますが、私が本当に知りたかったことをエシカルコンシェルジュ講座で教えていただいたと思っています。

・エシカル・コンシェルジュ講座での学びは、教員としてたくさんのことを生徒に還元することができた。

・10回の講座を通して、たくさんのことを学ばせていただきました。目を背けたくなる現実や不満を並べたくなる社会の仕組み、多すぎる課題に暗い気持ちになることもありましたが、"知れたこと"が何より私にとって凄く貴重な経験、財産になりました。この講座を受けなければ、声を上げようとしなかっただろうし、これまでのように現状を見守ることしかしなかったと思います。

・第1回目から衝撃を受け、自分がまだまだ知らないエシカルの世界に衝撃を受けるとともに、のめり込むようにこの講座にとてつもない魅力を感じ、知ることがとても楽しくなりました。回を重ねるごとに、より具体的な内容を知り現実を目の当たりにしますが、講座内でシェアする時間がとても有意義な時間となり、次第に分かち合える仲間が増えて、自分一人じゃない、ここにはこんなに仲間がいるんだと心強くなりました。

<受講生の変化 & 自分がやりたいアクション(一部抜粋)>

- ・エシカルの課題について、パーソナルなことから「私たちごと」として考えるようになった
- ・自分の自治体でのゴミの処理状況を知るために焼却場の見学に行った
- ・勤務先のPCをサーキュラーエコノミーに取り組んでいる会社のPCに切り替えていきたい
- ・自ら地域や自治体の活動に積極的に参加し、地域の力になることで、素敵な社会を実現し、未来の子供達に引き継いでいきたい